

あおばな

Aobana



春号
SPRING
2026.5
vol.71

特集

P1

滋賀から見る大河

「豊臣兄弟！」と出会う 戦国スポット

P4

医療の現場 消化器外科「消化器がん治療」

P7

教えて先生 気になる目の病気「白内障・緑内障」

P9

淡海ふれあい通信「訪問看護ステーション」

P11

辞令交付式・新人職員研修

P12

新職員ユニフォーム紹介

P13

あおばなインフォメーション

P14

近くのお医者さん

広報誌あおばな
デジタル版
はこちら▼



過去のバックナンバーも公開中!

「豊臣兄弟！」と出会う 戦国スポット

現在、放映中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」。物語の中心にいる豊臣秀吉と秀長の歩みを追うと、現在の滋賀県各地が浮かび上がります。戦国の時代、近江は湖と街道が交わる要の地でした。

秀吉は近江で初めて城主となり、織田家の後継者争いに勝利してからも近江を重要視し、家臣たちに水口岡山城や八幡山城、大津城などを築かせています。テレビ画面の向こうで描かれる出来事を、足元の風景と重ねてみると、歴史はぐっと身近になります。滋賀から見る大河の世界へ、一歩踏み出してみませんか。

琵琶湖と交通の要衝

琵琶湖を中心に、北陸や東海、京へとつながる街道が交わる近江は、人や物が行き交う重要な拠点でした。戦国武将にとっても、ここ近江を抑えることは大きな意味を持っていました。

織田信長と近江

織田信長は1576年から安土城を築き、この地を拠点の一つとしました。全国統一へと向かう動きは、ここ近江から大きく広がっていきます。

秀吉の出世の足場

信長に仕えた秀吉は、近江で長浜城主となり力を蓄えました。のちに天下人へと歩む道は、この地での経験が土台となっています。弟の秀長は兄を支え、稀代の名捕佐役と称されました。

賤ヶ岳

長浜城

安土城



宝巖寺唐門 長浜市・竹生島

出世街道を駆け上がる秀吉が信仰を寄せたといわれる宝巖寺。国宝・唐門は、中央が高く、左右になだらかな曲線で垂れる「唐破風（からはふ）」を持つ門という意味。最高格式のある装飾として安土桃山時代に流行したといわれています。



2020年5月、唐門・観音堂・波廊の修理完了。
彩色と屋根を復元し往時の姿に。

2006年、オーストリアにあるエッゲンベルク城で豊臣期大坂図屏風が発見され、唐門が付いた「極楽橋」が本丸北方に架けられている様子が描かれていました。この唐門は秀吉没後、京都東山の豊国廟を経て1602年に竹生島へ移されました。大阪夏の陣で炎に包まれた大坂城の唯一の現存建築遺構と伝えられています。



竹生島／滋賀県長浜市早崎町1664-1

長浜城 長浜市



1573年の浅井長政攻めの功で信長から領地を拝領した秀吉が、浅井氏の居城だった小谷城から移築した材料を使って築城。秀吉は、築城の進行や北近江の領地統治などの実務を担ったといわれています。秀吉は初めて城主となって一国を任せられ、城下町の基礎を築きました。当時は「今浜」と呼ばれていた地名を秀吉が「長浜」と改めました。廃城後、天主や大手門が彦根城に移築されています。現在は復元された城が歴史博物館として公開されています。

安土城跡 近江八幡市



織田信長が築いた壮大な城の跡地です。当時としては画期的な天主を備えた城で、信長の天下統一構想の象徴的な存在でした。秀吉は信長のもとで力を伸ばし、のちに天下人へと進む過程において、安土城時代は重要な転機となりました。

1582年の「本能寺の変」以降に城は焼失。現在、天主跡と本丸跡には礎石があり、二の丸跡には秀吉が建立した織田信長廟が残っています。

賤ヶ岳古戦場 長浜市



1583年、秀吉が柴田勝家と戦った合戦の舞台です。秀吉は前線の本陣で戦局全体を支える重要な役割を担っていました。眼下の余呉湖は兵士の血で染まったと伝えられています。現在、現存は穏やかな湖面が周辺の山々を映し出す様子が、鏡湖とも呼ばれています。この戦いをきっかけに秀吉は勢力を大きく伸ばし、天下統一へと歩みを進めていきます。



01

豊臣兄弟！北近江長浜 大河ドラマ館

(主催:北近江豊臣博覧会実行委員会)

長浜別院大通寺総会所に、NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の世界観へ没入できる大河ドラマ館が設置されています。番組の衣装・小道具の展示のほか、特集パネルやオリジナル映像が用意されています。

立ち寄り
スポット



豊臣兄弟！北近江長浜 大河ドラマ館

滋賀県長浜市元浜町32-9 営業時間 9:00~17:00(最終入館16:30)
定休日 原則無休 入場料 大人600円/小中学生300円(未就学児無料)

02

豊国神社 長浜恵比須宮

滋賀県長浜市南呉服町6-37
(大河ドラマ館より徒歩10分)

秀吉を祀る神社。江戸時代には徳川幕府の迫害を避けるため、表向きは恵比須神を祀り、奥殿に秀吉像を隠して信仰を守り続けた歴史があります。出世・開運の「太閤さん(秀吉)」と、商売繁盛の「恵比須様」の両方をお祀りしているため、仕事運や金運UPのスポットとして知られます。



03

滋賀県立 安土城考古博物館

日本初の高層天主とされる安土城の姿を、CGで高精度に復元した映像を上映し、復元模型や信長・安土城に関する資料を展示しています。



滋賀県近江八幡市
安土町下豊浦6678
開館時間 9:00~17:00
(最終入館16:30)
休館日 月曜日
(月曜日が祝日・休日の
場合は翌日)、
12月28日~1月4日

滋賀の風景や史跡に目を向けると、そこには戦国の息づかいが今も静かに残っています。城跡を歩き、湖を眺め、当時に思いをはせるそんな体験が物語をより深く味わうきっかけになります。滋賀から見る大河は、歴史を「知る」だけでなく、「感じる」楽しみへと広がっています。

医療の現場 #25

I want to know
Medical scene

PICK UP

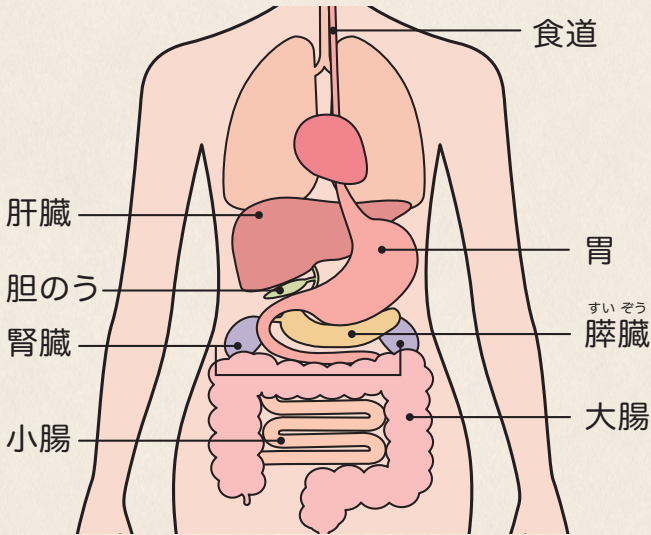
ロボット支援手術で進化する
消化器がん治療
大腸がん・胃がん・食道がん
今回は、消化器外科の専門医が体への負担が少ない
がん手術の新しいかたちをご紹介します。



淡海医療センター 副病院長
消化器外科 統括部長

とがわ たけし
戸川 剛

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医
Certificate of da Vinci Console Surgeon
(ダビンチ執刀医資格)



日本では
生涯で
約2人に1人が
がんになる

大腸がんは
年間およそ
15万人が
新たに診断

日本では、生涯で約2人に1人ががんになるといわれています。その中でも、胃や大腸、食道、肝臓、膵臓などに発生する消化器がんは、日本人にとってもとても身近ながんです。特に大腸がんは年間およそ15万人が新たに診断される日本で最も多いがんの一つであり、胃がんも依然として患者数の多いがんとして知られています。誰にとっても決して他人事ではない病気といえるでしょう。

消化器がんは、初期の段階では基本的に自覚症状はありません。また、血液検査での早期診断は不可能です。腹痛や食欲低下、体重減少、便秘の変化、血便などの症状が現れたときには、すでに病気が進行している場合が多々あります。

そのため、定期的な検診や早めの受診による早期発見がとて重要とされています。

熱えてくれるドクターは...

初期の
消化器がんは
自覚症状がない

血液検査での
早期診断は
不可能

定期的な検診や
早めの受診が大切

当院消化器外科では、食道がん・胃がん・大腸がんを中心に、肝臓がん、胆道がん、膵臓がんなど幅広い消化器がんの手術や化学療法に取り組んでいます。手術では、患者さん一人ひとりの状態に応じて開腹手術・腹腔鏡下手術・ロボット支援手術を組み合わせて、最適な治療を提供しています。

消化器外科外来のご案内 月～金曜日(受付8:30～11:30まで)

お困りの方は、当院消化器外科外来に受診いただければ、専門的な観点から現在の状態を調べ、より適切な治療法を提案させていただきます。

消化器外科の
詳しい情報は
HPでもご覧
いただけます



精密な操作を可能にする「ロボット支援手術」

近年、消化器外科領域ではロボット支援手術が急速に普及しています。当院では手術支援ロボット「da Vinci Xi (ダビンチXi)」を2台導入し、産婦人科・泌尿器科に加え、消化器外科でもロボット支援手術を行っています。

消化器外科では、直腸・結腸・胃・食道のがんに対して実施しています。

ロボット支援手術は、執刀医が操作装置(コンソール)に座り、高精細3D画像を見ながらロボットアームを遠隔操作して行う手術です。



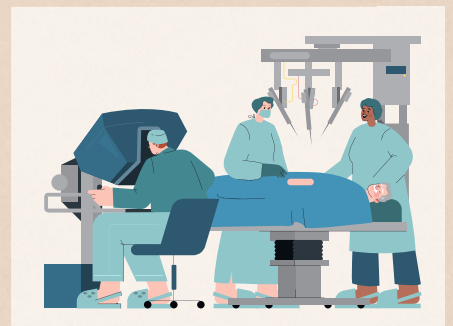
従来の腹腔鏡下手術では鉗子(手術器具)が直線的な動きしかできませんでしたが、ロボットの鉗子は多関節構造により自由度が高く、からだの中で曲げる・向きを変えることができます。そのため、人の手が届きにくく従来の腹腔鏡下手術器具では操作が困難だった奥まった狭い空間でも手術操作が可能になります。また高精細な3D画像を見ながら手振れない安定した操作ができるため、細かい血管や神経を確認しながら、より精密な手術を行うことができます。

特に直腸がんや食道がんなど、体の奥深くで行う難度の高い手術において、その特長が活かされています。腹腔鏡下手術と同様に手術創が小さく、術後の回復も早いことが特徴です。また腹腔鏡下手術と比べても、さらに術後の痛みが少ない傾向があります。



「ロボット=自動」ではありません。

しばしば「ロボットが自動で手術するのですか?」と誤解されますが、**実際に手術をしているのは専門トレーニングを受けた外科医です。**ロボットはあくまで“高性能な手術支援機器”であり、最終的な判断と責任は医師が担います。ロボット支援手術を安全に行うためには、従来の開腹手術や腹腔鏡下手術を十分に経験した外科医と、麻酔科医・看護師・臨床工学技士によるチーム体制が不可欠です。このチーム体制のもと、トレーニングを受けた外科医が責任を持って執刀します。ロボット支援手術を提供するのは「人の手」によるチーム医療です。



2025年度は消化器外科ロボット支援手術を35例実施し、重大なトラブルや深刻な合併症はなく、安全に運営してきました。症例数を追うのではなく、**一例一例を丁寧に、安全に行うことを最も大切に**しています。

全国的にも珍しい「腹膜播種センター」

「再発したら終わり」ではなく、
「次の一手」を提示できる体制があること。
それこそが**当院消化器外科の強み**です。

ロボット支援手術をはじめとする外科治療の進歩により、がんに対する手術の安全性や精度は大きく向上しています。しかし、ロボット支援手術であっても、従来の開腹手術や腹腔鏡下手術であっても、がんの進行度によつては根治的手術後に転移・再発が生じる可能性があります。

中でも**腹膜播種は、がんが腹腔内に広く散らばるように転移した状態**であり、最も厳しい転移形態の一つとされ、現在でも治療困難と考えられることが少なくありません。

そのような中、当院消化器外科には全国的にも珍しい「**腹膜播種センター**」を設置しています。当センターでは、特に**結腸がん・直腸がんに加え、卵巣がんなど婦人科領域のがん**に対して、適切な症例を選択したうえで積極的な外科治療を行い、良好な成績を得ています。

当院**腹膜播種センター**で行う外科治療は、**腹膜播種に対する有力な治療選択肢の一つ**となっています。



腹膜播種センターの
ホームページは
こちらからご覧いただけます。

地域の皆さまへ

がん治療は、手術だけで完結するものではありません。
術前の精密検査から、必要に応じた化学療法、術後のフォローアップに至るまで
一貫した医療体制が重要です。

当院では、24時間対応の救急体制のもと、術後合併症への迅速な対応や他診療科との連携を図り、安心して治療を受けていただける環境を整えています。「手術が終われば終わり」ではなく、退院後も安心して通院いただける環境づくりを心がけています。

また、患者さんやご家族への丁寧な説明を心がけ、十分にご理解・ご納得いただいたうえで治療を選択していただくことを何よりも大切にしています。ロボット支援手術はあくまで選択肢の一つであり、すべての患者さんに適応されるものではありません。病状や全身状態を総合的に判断し、それぞれに最適な治療をご提案いたします。

がん治療は、不安の中で大きな決断を伴うものです。私たちは最新の医療技術に加え、丁寧な説明と誠実な姿勢を大切に、最後まで責任を持つ医療を提供したいと考えています。

「この病院で治療を受けてよかった」と思っただけの医療を目指し、地域のがん治療を支えてまいります。



教えて先生!



淡海医療センター
おさふね よしこ
眼科 部長 長船 嘉子
日本眼科学会眼科専門医

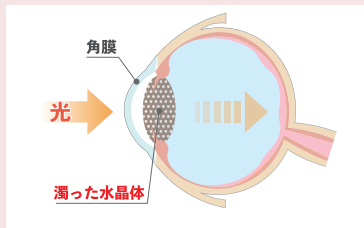
気になる目の病気

白内障と緑内障について

白内障とは目のレンズが濁る病気

白内障は、目の中にある「水晶体」というレンズの役割をする部分が濁ることで起こります。水晶体は本来、透明で光をきれいに通しますが、加齢や紫外線、糖尿病、薬の影響などによって徐々に白く濁っていきます。

白内障は加齢によるものが最も多く、程度の差はあっても高齢になるほど発症しやすい病気です。



白内障の主な症状

白内障の進行はゆっくりで、初期には自覚症状が少ないこともあります。進行すると、物がかすんで見える、視界がぼやける、光をまぶしく感じる、眼鏡を替えても見えにくいといった症状が現れます。「年のせい」「疲れ目」と思ってしまいがちですが、日常生活に支障が出てくることもあります。

白内障の治療

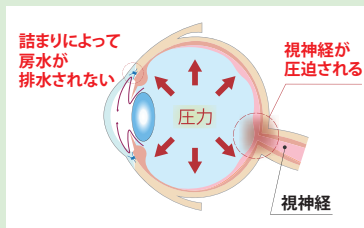
初期には点眼薬で進行を緩やかにすることもありますが、濁った水晶体そのものを元に戻すことはできません。見えにくさが生活に影響する場合には、手術による治療を行います。

白内障手術では、濁った水晶体を取り除き、人工の眼内レンズに入れ替えます。現在では安全性が高く、短時間でできる治療として多くの方が受けています。

緑内障とは視野が少しずつ欠けていく病気

緑内障は、目から脳へ情報を伝える視神経が障害されることで起こる病気です。多くの場合、眼圧(目の中の圧力)が関係し、視力そのものよりも「見える範囲(視野)」が徐々に狭くなっていくのが特徴です。

日本人の緑内障は、眼圧が高くない場合でも発症するタイプが多く、40歳以上では決して珍しい病気ではありません。



緑内障の主な症状

緑内障は、初期から中期にかけてほとんど自覚症状がありません。片方の目の視野が欠けても、もう一方の目で補ってしまうため気づきにくいのです。進行すると、視野の一部が欠ける、階段の段差が見えにくい、物にぶつかりやすくなるといった症状が現れます。一度失われた視野は元に戻らないため、早期発見・早期治療が非常に重要です。

緑内障の治療

緑内障の治療の目的は、病気の進行を抑え、現在の視野をできるだけ長く保つことです。治療の基本は点眼薬による眼圧のコントロールですが、十分な効果が得られない場合には、レーザー治療や手術を検討します。

私たちは日常生活の多くを「目」からの情報に頼っています。年齢を重ねるにつれて目の病気のリスクは高まりますが、その中でも「白内障」と「緑内障」は多くの方が一度は耳にしたことのある代表的な目の病気です。



白内障と緑内障を同時に治療できる場合があります

手術回数を減らし、患者さんの負担軽減を目指します

淡海医療センターでは、これまで白内障と緑内障の手術をそれぞれ別々に行ってきました。このたび、患者さんの身体的・時間的な負担を軽減することを目的に、白内障手術（水晶体再建術）と緑内障手術（眼内ドレーン挿入術）を同時に行う**水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術**を導入しました。

※すべての患者さんが対象となるわけではなく、症状や病状に応じて医師が適応を判断します。

水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術

手術は角膜に小さな穴をあけて器具を挿入する方法で行うため縫合の必要がなく、手術時間もおよそ20分と比較的短時間で終了します。眼圧のコントロール改善が期待できるほか、見え方の向上と視野を守ることの両立を目指す治療です。



水晶体再建術（白内障手術）

白内障で濁った水晶体を小さな切開から取り除き、人工の眼内レンズに入れ替える手術です。人工レンズは目の中に固定され、光を正しく網膜へ届ける役割を果たします。これにより、かすみやぼやけの改善が期待できます。

1

角膜縁を切開



局所麻酔下で黒目と白目の境目（角膜縁）を切開します。

2

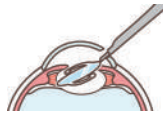
濁った水晶体を取り出す



水晶体を細かく砕き吸引して取り出します。

3

人工レンズを挿入



人工レンズが固定されたら手術完了です。

眼内ドレーン挿入術（緑内障手術）

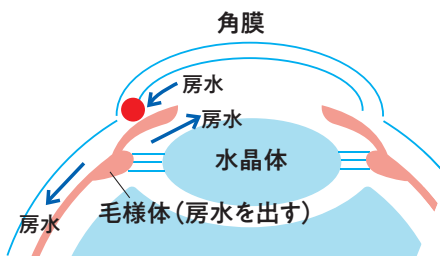
目の中の房水（目の中を循環する液体）の流れを改善し、眼圧を下げるための小さな医療機器を挿入します。これにより、視神経への負担を軽減し、緑内障の進行を抑える効果が期待できます。

眼圧を下げるための医療機器

アイステント (iStent)

詰まった排水路にアイステントでバイパスを作り房水を流します。

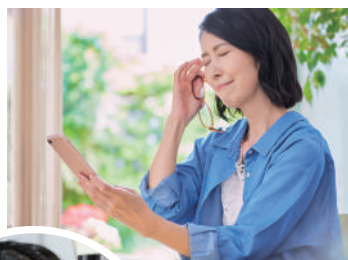
長さ0.3mm程の非常に小さなチタン製チップ



拡大

医師からのコメント

「見えること」は、毎日の生活の安心と安全につながります。白内障や緑内障は、早期発見と適切な治療によって、見え方を守ることが期待できます。当院では、患者さん一人ひとりの状態に合わせた治療を行い、新しい医療技術も積極的に取り入れていきます。見え方に不安がある方、治療について詳しく知りたい方は、お気軽にご相談ください。



40歳以上の方は年に一度眼科検診へ行きましょう！

早期発見と継続的な治療が大切です

白内障は手術によって視力の改善が期待できますが、緑内障は進行を抑える病気で、だからこそ、症状がなくても**定期的な検査を受けることが重要**です。

特に40歳を過ぎたら、見え方に問題がなくても一度は眼科検診を受けることをおすすめします。

眼科

受付時間 / 月曜日～金曜日8:30～11:30
月曜日・火曜日は受付10:30まで

診療時間 / 月曜日～金曜日9:00～12:00





淡海ふれあい通信

vol.10

今回のテーマ

訪問看護ステーション ご自宅での療養を、 安心して続けていただくために

経験と専門性を

生かした在宅看護

淡海ふれあい病院訪問看護ステーションでは、看護師がご自宅を訪問し、医師の指示のもとで看護を行っています。

病気や障がいがあっても、「自宅で過ごしたい」「家族と一緒に時間を大切にしたい」という思いは、多くの方に共通するものです。

私たちは、住み慣れたご自宅で安心して療養生活を続けていただけるよう、医療的なケアだけでなく、その方の生活や気持ちにも目を向け、無理のない療養生活を支えることを大切にしています。

チームで支える

在宅療養

在宅療養は、訪問看護だけで成り立つものではありません。

主治医、ケアマネジャー、介護サービス事業所など、地域の関係機関と連携しながら、情報を共有し、その方にとって無理のない支援体制を整えています。

利用者さんやご家族が安心して生活を続けられるよう、関係職種と協力しながら、必要な支援をつないでいきます。



教えてくれたのは...



淡海ふれあい病院
訪問看護ステーション
所長

つだ ともこ
津田 知子

こんなときはご相談ください！

- 退院後の生活に不安がある
- 自宅での療養がうまく続けられるか心配
- 医療的なケアや体調管理について相談したい
- ご家族の介護負担が気になっている



在宅療養ってどうすれば...

サポートを知りたい

訪問エリアや訪問時間についても、状況に応じて柔軟に対応いたします。まずはお気軽にご相談ください。

社会医療法人 誠光会
淡海ふれあい病院訪問看護ステーション

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1629-5 淡海ふれあい病院内 2階

TEL:077-516-2519 FAX:077-516-2521

受付時間:8:30~17:00 (月~金曜日/祝日・年末年始休み)

看護師4名体制 ※在宅看護専門看護師、訪問看護歴20年以上の看護師が在籍しています。

HPはこちら!



▲カンファレンス

▼事例検討会



訪問看護師の1日



01 ミーティング
利用者さんの状態や前回からの変化をスタッフ間で共有し、その日の訪問内容を確認します。



02 訪問準備
訪問先ごとに必要な物品や記録類を準備します。
【持ち物例】
●訪問かばん(血圧計、体温計、聴診器)
●入浴セット(入浴用エプロン、長靴)
●足浴用バケツ



03 出発
準備を整えたら、利用者さんのご自宅へ出発します。車で地域を回りながら、1日に複数のお宅を訪問します。



04 訪問看護の実施
健康チェックや医療処置、日常生活のサポートを行います。
【具体例】
バイタルチェック/点滴や褥瘡処置/身体の清拭/服薬・栄養・介護指導や管理/急変時の対応指導/ご本人・ご家族への相談対応



05 訪問後の後片付け
使用した物品の整理や補充を行い、次の訪問に備えます。感染対策を徹底し、常に清潔な状態を保つことで、安全で質の高い看護につなげています。



06 記録・待機準備
訪問内容を記録し、必要に応じて医師や関係機関へ情報共有します。また、夜間や緊急時の連絡に対応できるように電話体制を整え、24時間安心して在宅生活を送っていただけるよう支えています。

要介護と縁遠くなるための日常生活習慣 10分間「自立筋」トレーニング

01 準備(2分) 全身の血液を促す

足首回し
椅子に座り片足ずつ足首を大きく回す。

肩甲骨ストレッチ
両手を肩に置き、肘で大きな円を描くように回す。

02 筋力維持(5分) 下半身の踏ん張り力1

「ゆっくり」椅子スクワット(3分)
椅子の前に立ち、3秒かけてゆっくり座り、3秒かけて立ちあがる。机に手をついてもOK!

かかと上げ下げ(2分)
椅子の背もたれにつかまり、背筋を伸ばしかかとをゆっくりと上下に動かす。

歳をとっても、いつまでも自分らしく、自宅で自立した生活を送りたいと思っておられる方は多いと思います。『フレイル(加齢により心身が衰えた状態)を予防し、要介護状態を遠ざけるための運動をご提案しますので、試してみてください！

03 筋力維持(2分) 下半身の踏ん張り力2

片足立ち(左右各1分)
必ず壁や椅子の近くで行うこと。床から数センチ足を浮かせ、姿勢を保つ。

04 整理(1分) 深呼吸でリラックス

鼻から吸って、口から細く吐き出す深呼吸を3回行う。

現在放映中のNHK連続テレビ小説「風、薫る」では、訪問看護の先駆者・大関和さんが主人公として描かれています。私たちの訪問看護も、その志を受け継ぎながら、地域の皆さまの暮らしを支えています。



APPOINTMENT CEREMONY

辞令交付式の様子



新職員数
総勢107名



理事長メッセージ

新たな仲間を迎え、心強く感じています。
職員一人ひとりが誠実に役割を果たし、身近な
場所から地域を照らす存在として、人々の健康と
暮らしに寄り添う医療を続けてまいります。

理事長 鈴木 孝世

医師	11名
研修医	10名
看護師・助産師	54名
メディカルスタッフ・事務員など	32名

2026年度が
スタートしました

新たな仲間を迎え、

NEW EMPLOYEE TRAINING

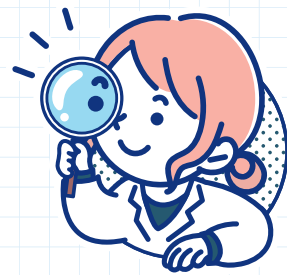
新入職員研修の様子



法人理念、医療安全、感染対策、接遇、
チーム医療の研修を行いました。
学びを力に、それぞれの現場へ。

NEW UNIFORM LINEUP

2026年4月より、新しくなった
職員ユニフォームをご紹介します!



淡海医療センター、淡海ふれあい病院、草津介護医療院の職員ユニフォームを一新しました。

看護師・助産師

4色のカラーバリエーション!

Gray Blue Lavender Rose

介護福祉士

**看護補助者
ケアパートナー**

メディカルスタッフ

- 診療放射線技師
- 臨床検査技師
- 臨床工学技士
- 理学療法士
- 作業療法士 など

管理栄養士

薬剤師&薬剤助手

情報・支援系職種

- 情報システム
- 診療情報管理士
- ケアマネジャー
- 国際医療支援

医療事務員

医師事務作業補助者

透析スタッフ

機能性と快適性を高め、より親しみやすい印象へ!

※患者さん・利用者さんと直接接しない部署は、私服勤務となりました。

装いは変わっても、
私たちの想いは変わりません。

これからも地域の皆さまに寄り添い、
安心・安全な医療と介護を提供してまいります。



あおばなインフォメーション

AOBANA INFORMATION



草津看護専門学校 OPEN CAMPUS 2026

看護の仕事や学校生活について、実際に見て・体験して・感じていただける機会です。進路を考えている方は、ぜひご参加ください。

来場者には
500円分
QUOカード
プレゼント!
※付き添いの方は除く



第1回 5/23 sat | 9:00~11:30

第2回 7/25 sat | 9:00~11:30

第3回 8/ 4 tue | 9:00~11:30
※実習病院(淡海医療センター)見学付き

第4回 8/ 5 wed | 9:00~11:30
※実習病院(淡海医療センター)見学付き

第5回 9/12 sat | 9:00~11:30

主な内容

- 模擬授業
- 校舎見学
- 技術演習体験
- 在校生との交流会
- 【8/4と8/5限定】実習病院見学 など



社会人や男性の方向けの
座談会など、特別企画も
実施予定です。

お申込み
詳細は
こちらから



学校HP

今年も
出展!

BKCウェルカムデー2026

開催日 5/24 日 10:00~16:30

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

- 出展内容
- ドクターカー(救急車)の展示・車内見学
 - 医師・看護師なりきり体験(白衣で記念撮影)

実際の車両を間近で見たり、白衣を着て写真を撮ったりと、医療を身近に感じていただけます。ぜひご家族でお越しください。



びわこ・くさつ健康フェスタ

BKCウェルカムデー

-BKC Well-being Campus Day-

みんなが楽しい、ウェルビーイングを体感する1日



当院医師が「ドクターが薦める専門医」に認定されました

「ドクターが薦める専門医」は、医師で構成される評価組織により推薦・選考される制度で、専門性の高さや信頼性、人間性などが総合的に評価され認定されるものです。



淡海医療センター
消化器内科 部長
内視鏡センター長
ばん ひろみつ
伴 宏充



淡海医療センター
整形外科 脊椎センター長
にしざわ かずや
西澤 和也

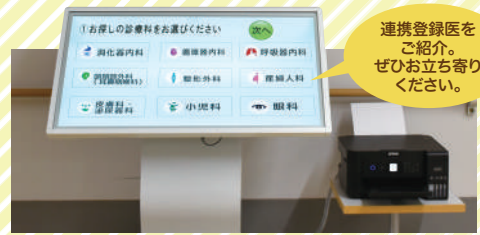
今後も、患者さまに安心していただける医療の提供に努めてまいります。



かかりつけ医を もちましよう

「かかりつけ医」は、患者さんやご家族の日常的な治療、健康管理を考えてくださる身近で気軽に相談できる地域のお医者さんです。淡海医療センターでは「かかりつけ医」との協力体制のもと、それぞれの診療分担を明確にして、患者さんの健康管理を地域全体で行い、安心して受診いただけるような地域医療連携を推進しています。

淡海医療センター1階再来受付機構 かかりつけ医検索コーナー



連携登録医をご紹介。ぜひお立ち寄りください。

耳鼻咽喉科

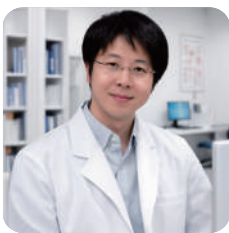


平松耳鼻咽喉科

湖南省平松北3丁目73
TEL.050-3109-7295
<https://hiramatsu-jibika.jp/>



2025年11月、湖南省に開院しました。季節性・通年性アレルギー、感染症、小児耳鼻科疾患に加え、めまい、難聴、顔面神経麻痺、睡眠時無呼吸症候群など専門性の高い疾患にも対応しています。補聴器診療では評価から調整まで丁寧に行い、生活の質向上を重視します。舌下免疫療法や睡眠時無呼吸症候群の検査・治療にも注力し、予約制を基本に柔軟な診療を心がけ、地域のかかりつけ医を目指します。



院長 山本 大喜

赤ちゃんからご高齢の方まで、安心して相談できる場でありたいと考えています。正確な診断と丁寧な説明を大切にしています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	×	○	△
15:00~18:30	○	○	○	×	○	△

※△:偶数土曜は休診になります
※休診日:木曜・偶数土曜・日曜・祝日



消化器内科・肝臓科



南草津 おなかと 胃・大腸カメラのクリニック

草津市南草津2丁目3-11
TEL.077-558-6778
<https://kusatsu-naishikyo.com/>



南草津おなかと胃・大腸カメラのクリニックは、「医療の力で笑顔と安心を」モットーに、胃カメラ・大腸カメラを通して、地域の皆さまの「おなかの安心」をそっと支えることを目指しているクリニックです。鎮静を用いた負担の少ない検査で、不安や緊張をできるだけ和らげながら丁寧に対応します。CT・超音波検査も活用し、気になる症状から健診の精密検査まで幅広くサポートいたします。



院長 大井 雅之

忙しい方にもご来院いただきやすいように土日検査・同日検査・当日検査を行っています。ちょっとした違和感でも大丈夫です。お気軽にご相談ください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~17:00	○	○	○	○	○	○	△
12:00~17:00	□	□	□	□	□	□	△

※休診日:祝日・お盆・年末年始 ※□:内視鏡検査(予約制)
※受付時間:午前9:00~12:00 ※△:土日~15:00(日曜・予約検査のみ)





えふえむ草津 FM78.5MHz
地域とつながる医療をラジオで



おうみ健康ナビ

～医師がお届けする医療の話～

- 本放送:毎月第1水曜日 11:00～11:10
- 再放送:毎月第2水曜日 11:00～11:10

月1回放送

淡海医療センターでは、地域の皆さまに身近で役立つ医療情報をお届けするため、ラジオ番組の放送をはじめました。



第1回 レポート



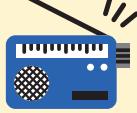
テーマ
地域の医療を支える急性期病院の役割

病院長の森谷季吉が出演し、淡海医療センターの取り組みや地域医療への想いをお伝えしました。現在はアーカイブでもお聴きいただけますので、ぜひご利用ください。

森谷病院長とパーソナリティ 三井麻莉子さん



第2回 予告



テーマ
高血圧と心臓を守る生活習慣

5月6日(水) 11:00～11:10

5月17日の「世界高血圧デー」にちなみ、心臓血管・心不全センターセンター長の岡田正治が「高血圧と心臓を守る生活習慣」をテーマに、日々の生活で実践できるポイントをわかりやすく解説します。

これまでの放送も聴ける！

スマホでQRコードを読み込んで聴いてみよう！

えふえむ草津 オンデマンド配信



社会医療法人 誠光会



淡海医療センター

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1660
 TEL.077-563-8866

病院をもっと身近に感じていただくために
 ホームページやInstagramで
 情報発信しています！



淡海ふれあい病院

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1629-5
 TEL.077-516-2121
 ・訪問看護ステーション TEL.077-516-2519
 ・訪問リハビリステーション TEL.077-516-2336
 ・草津市在宅医療介護連携センター TEL.077-516-2498
 ・指定居宅介護支援事業所 ふれあい TEL.077-516-2347

草津介護医療院

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1629-5 TEL.077-516-2121

南草津健診センター

〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目3番地7号 TEL.077-599-1530

介護老人保健施設 草津ケアセンター

〒525-0027 滋賀県草津市野村2丁目13番13号 TEL.077-567-1122

- ・通所リハビリテーション
- ・訪問リハビリステーション
- ・指定居宅介護支援事業所 さらら TEL.077-567-5177
- ・草津ケアセンター 訪問介護ステーション TEL.077-567-5300
- ・草津市訪問看護ステーション TEL.077-564-2228
- ・草津市 草津地域包括支援センター
- 〒525-0034 滋賀県草津市草津3丁目9番14号 TEL.077-561-8144
- ・栗東市 栗東西地域包括支援センター
- 〒520-3024 滋賀県栗東市小柿1丁目10番10号 (ゆうあいの家) TEL.077-584-4121

草津看護専門学校

〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町1824 TEL.077-516-2567